

2020. 3. 3

畑 啓之

マスク不足に国が国民生活安定緊急措置法を発動 国が買い上げ北海道に支給

マスク配布に予備費 22 億円 政府、新型肺炎対策で

3/3(火) 18:27 配信 共同通信

政府は 3 日の持ち回り閣議で、新型コロナウイルスの感染が広がっている北海道の住民などにマスクを配布するための経費として、2019 年度予算の予備費から 22 億 8500 万円の支出を決めた。国民生活安定緊急措置法に基づく措置で、国が一括してメーカーから買い取ったマスクを配布する。

マスク不足に対して、やっと政府が乗り出してきた。まずは北海道とのことであるから、一般に出回るまでにはまだまだ時間を要するだろう。

国民生活安定緊急措置法 (Wikipedia) とは

昭和 48 年 12 月 22 日法律第 121 号は、物価の高騰その他の日本経済の異常な事態に対処するため、国民生活との関連性が高い物資及び国民経済上重要な物資の価格及び需給の調整等に関する緊急措置を定め、国民生活の安定と国民経済の円滑な運営を確保することを目的として、1973 年（昭和 48 年）に制定された日本の法律である。

オイルショック時になぜだかわからないがトイレットペーパーの買い占め騒ぎが起こった。新型コロナウイルスの感染拡大と理由は異なるが、ここ数日のトイレットペーパー買い占め騒ぎもなぜ起きているのかわからない。人間パニックになるとトイレットペーパーに飛びつくというのには何かわけがあるのでは？ 考えると夜も眠れなくなる。

トイレットペーパー騒動 (Wikipedia) とは、1973 年（昭和 48 年）に、オイルショックをきっかけとする物資不足が噂されたことにより、日本各地で起きたトイレットペーパーの買い占め騒動である。この当時、日本の紙生産は安定しており、実際には生産量自体は同流言飛語が全国的に広まるまで、ほとんど変わっておらず、パニックが発生した後は、むしろ生産量の増加も行っていった。これが基で国民生活安定緊急措置法が制定された。

「トイレットペーパーが手に入らなくなる」という噂で集団行動が生じたわけだ。パニックの中にいる人々はすでに合理的な（論理的な）思考を失っているということだろう。パニックとはそういう恐ろしいものである。